

萌芽会報

第8号

平成3年5月1日発行



機械電気科

萌芽会・編集部

編集発行人 田中喜一

大阪市都島区善源寺町1丁目5の64

都島工業高等学校

機械電気科研究室内

TEL: 06-921-0231代



集まれ「総会・懇親会」へ

●第13回開催、平成2年6月30日(土)
大阪梅田 大湖にて

これが機電の力だ！



燃る魂、我らが都工祭
▲都工祭総合2位！

機械 建築 電気 土木都市工 球工 機電
1年 89 72 93 90 77 68
2年 74 79 88 93 69 87
3年 61 70 100 89 69 89
合計 232 237 313 284 221 297

平成3年度萌芽会事業のお知らせ

(1) 第14回総会

平成3年9月28日(土)18:00～
場所は検討中です。

(2) 第7回ゴルフコンペ

平成3年10月23日(水)
場所神有ゴルフ倶楽部



ゴルフコンペも盛んに開催！

- 平成2年4月18日(水)=我楽多会ゴルフコンペ
- 平成2年10月24日(水)=萌芽会ゴルフコンペ
(いずれも神有ゴルフ倶楽部)

「会長挨拶」

萌芽会会長
田中 喜一

(がらくた会、S 41卒
ゴルフコンペ
我楽多会)

「科長就任の御挨拶」

機械電気科長
細野浩一

「お札の御挨拶」

前機械電気科長成田義之
萌芽会各員の皆様におかれま
しては、それぞれの職場にて益々
ご活躍のことと存じます。私、
本年度より、細野先生に引き継
いでもらうことになりました。
2年間の在任中には、会員諸氏
の絶大なるご協力を賜り厚く御
礼申し上げます。又昨年度にお
いては、同窓会記念ホールの募
金等での、ご協力本当にありがとうございました。(ここに会員
諸氏のご協力で機械電気科の目
標額を達成することが出来たこ
とを報告させていただきます。)

さて、今後5年間は高校への
志願者数の急減期に当たり、工
業高校にとつても、機械電気科
にとつても、色々の課題が続出
することと存じます。細野新科
長のもとに、科員一同、一致団
結し、一つ一つの課題をクリア
し、機械電気科をより充実させ
たいと存じますので、会員皆様
のご支援をお願い致します。

月日の経つのは早く、一年があつという間に過ぎてしましました。昨年度は同窓会記念ホールの募金に多大の御協力をいたしました。お陰で目標を達成する事が出来、建設も順調に進んでいます事を最初に御報告しております。

さて本年度の萌芽会ですが総会とゴルフコンペはぜひ共開催したい、特に総会は場所を例年と変更し、もう少し安い予算でより多くの会員に集まっていたみたい、時期も9月に開催したいと考えております。詳細決定次第お知らせしますので多数の御出席をお願いします。



さしあたっては、平成5年から実施される新教育課程をどのように組むかです。

生徒が卒業した後、柔軟に社会に対応してゆくには、確立された基本的な技能・技術を身につけさせる必要があります。その上で生徒が自ら新しい技術に対するような教育をしてゆきたいと云う気持ち、機械電気科職員の意向であり、それを具体的にしたいと思つております。卒業生の皆様にもよろしくお願い申上げ、御挨拶いたします。

さしあたっては、平成5年から実施される新教育課程をどのように組むかです。

生徒が卒業した後、柔軟に社会に対応してゆくには、確立された基本的な技能・技術を身につけさせる必要があります。その上で生徒が自ら新しい技術に対するような教育をしてゆきたいと云う気持ち、機械電気科職員の意向であり、それを具体的にしたいと思つております。卒業生の皆様にもよろしくお願い申上げ、御挨拶いたします。

平成2年度 萌芽会役員

(役職)	(氏名)	(卒年)
会長	田中 喜一	S 41
副会長	安養寺哲夫	S 43
会計監査	馬渕 敏治	S 38
事業部長	安養寺哲夫	S 43
事業部	高橋 良司	S 43
会計部長	中島 聖	S 49
総務部長	大久保和行	S 41
編集部長	田中 喜一	S 41

平成2年6月23日、母校機械電気科で第3学年80名を対象に進路懇談会が実施されました。参加された9名の先輩方の体験談による質問も飛び出しました。

修学旅行は、平成2年5月8日から11日まで西・中九州方面に行き、長崎での半日の自由行動や、ME名物の担任と一緒になった芸能大会(宿舎における余興など)、大変な盛り上がりでした。

体育祭は10月31日に雨天順延した後、3年ぶりに母校グランドで実施されました。

機械電気科はここ3年間、総合で準優勝を続けており昨年も惜しくも電気科に敗れました。(写真参照)

今年こそは優勝の美酒を味わいたいものです。

平成2・3年度 萌芽会クラス幹事

幹	事	平田	克彥	S 37
"		馬渕	敏治	S 38
"		小原	正利	S 39
"		白露	義照	S 40
"		岩地	馨	S 41
"		山本	隆男	S 42
"		安養寺	哲夫	S 43
"		今井	進	S 44
"		畠仲	聰	S 45
"		山崎	龍行	S 46
"		玉城	洋一	S 47
"		咲島	猛聖	S 48
"		小野	寛	S 49
"		柏原	正一	S 50
"		畠中	敏昭	S 51
"		松井	繁	S 52
"		森本	宏	S 53
"		金本	雅幸	S 54
"		中竹	春尚	S 55
"		浦瀬	淳二	S 56
"		尾稻	泰幸	S 57
"		村本	高清	S 58
"		藤本	孝志	S 59
"		斎谷	信男	S 60
"		吉崎	尋志	S 61a
"		崎嶋	陽一	S 61b
"		尾豐	哲也	S 62a
"		松谷	浩一	S 62b
"		星野	孝一	S 63a
"			充紀	H 1 a
"			勝	H 1 b
"			威之	H 2 a
"				H 2 b

文化祭は11月10日から11日まで母校で開催され、機械電気科は3階に集中して空気圧ロボット等の展示もし、来賓の好評を博しました。

新本館は平成2年7月にすべて完成し、12月1日に盛大な竣工式が催されました。近くへおいでの節はお気軽に機械電気科研究室へお立ち寄りいただき、新本館をぜひ共御覧いただきますようお願いいたします。

三年間を振り返って

機械電気科3年
太田 歩

高校受験の時、都島工業高等機械電気科を選んだ。試験をうけるときは、同じ中学校の友達ではなく、一人で都島の校門に向かつた。試験をうけ、合格発表の日、硬式野球部の人に出会つた。高校になつたら、野球

高校野球は、今までのレベルとは、全く違つてた。自分としては、一日でも早く高校レベルに近づき、追いこしたかった。野球部では、一人一人の力はそれほど高くはなかつたが、試合になると団結力で勝ち取つた勝利も数多い。公立高校でも、ちゃんと練習をしていて、初めから甲子園を目指すではなく、強豪私学を倒して行き、苦しめ、すきがあれば甲子園を目指す。甲子園には出れなかつたが、自分の理想のチームになつていたので、3年間の高校野球生活は、満足した。

野球が終わり、夏が終わつて、2学期に入ると、今まで以上に

三年間を振り返つて

校林言笑和

步

「……、いうことは、決めていたので、その日に、入りたいと申し出た。始業式の日までに一人で練習していた。一日も早く、うまくなりたかった。学校が始まると、本格的に野球が始まる。高校野球は、今までのレベルとは、全く違っていた。自分としては、一日でも早く高校レベルに近づき、追いこしたかった。野球部では、一人一人の力はそれほど高くはなかつたが、試合になると団結力で勝ち取つた勝利も数多い。公立高校でも、ちゃんと練習をしていて、初めから甲子園を目指すのではなく、強豪私学を倒して行き、苦しみ、すきがあれば甲子園を目指す。甲子園には出れなかつたが、自分の理想のチームになつていたので、3年間の高校野球生活は、満足した。

クラスにとけ込むようになった。クラスは、A・B共にまとまり合って、いろいろな行事があることに盛り上がる。いつも行事は最高の思い出になる。しかし、まとまっているのは、クラスだけでなく、担任の先生とともにまとまっており、機械電気科は、一體となっている。自分の心の中では、生涯最高の学校・科・クラスだと思っている。学校が終わるにつれて、さびしさは増すが、またそれぞれ新たな世界へ出て、はばたいて行く。このクラスの仲間は、手ばなしのできない人はかりで、樂しい思い出ばかり作り過ぎて、離れになるのがとてもつらい。それは、自分が思うことだけではなく、みんなが思っていることだろうと思う。

機械電気科6クラス229名に対して次の先生方が指導にあたつておられます。

尚4月の異動により、村尾先生を都工教頭に、高見先生を都二工にお送りしました。後任として、高田、三谷のお二人の先生を迎えました。

細野浩一先生（科長）
成田義之先生
中野靖弘先生
高田好男先生
鷺見 隆先生（1b 担任）
異 利春先生（1a 担任）
高橋昭次先生
三谷兼一郎先生

平成2・3年度 浪速工業会役員

(役職)	(氏名)	(卒年)
理 事	岩地 馨	S 41
"	牧野 正一	S 41
参 事	千葉 晴夫	S 37
"	馬渢 敏治	S 38
"	川口 寿通	S 40
評議員	大久保和行	S 41
"	藤咲 猛	S 48
"	柏原 正一	S 51
"	畠田 敏昭	S 52
"	竹野 泰幸	S 58
"	秋吉孝一	S 63b

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前 年 度 繰 越 金 会 会 金	17,158円	会 報 第 7 号 発 行 費	45,320円
部 会 会 金 還 付	105,100	用 冊 費	6,000
第 13 回 総 会 会 金 費	198,000	役 員 会 会 議 費	2,000
H 3 年 卒 業 生 会 会 費	24,000	通 信 費	13,235
		第 13 回 総 会 会 費 用 金	289,453
		次 年 度 繰 越 金	△11,750
合 計	344,258	合 計	344,258

行 事	実 施 日	場 所	内 容 等
萌芽会員会開催(第1回)	H2.5.12(土)	浪速工業会館	総会打合せ備
〃(第2回)	H2.6.23(土)	〃	総会
〃(第3回)	H3.3.23(土)	〃	報道打合せ事業案、予算案
萌芽会報第7号発行	H2.5.1	1,600部	
機械電機科造路懇談会開催	H2.6.23(土)	化学計測実習室	OB9名
萌芽会第13回総会懇親会開催	H2.6.30(土)	梅田 大湖	50名
萌芽会第6回ゴルフコンペ開催	H2.10.24(水)	神有ゴルフ俱楽部	8名
卒業記念品贈呈	H2.2.27(火)	卒業生80名	ドライバーセット

若林宗行先生（3a 担
馬越盛治先生（3b 担
木村圭吾先生（2a 担

松本信一先生
橋本祐史先生
藤原清隆先生

母交ごよリ

機械電氣科職員紹介